

2025 年度
第 39 号

体育市民連帯 ニュースレター

文化体育観光部
中学校シルム部
暴行指導者資格を
直ちに取り消す



문화체육관광부

キム・ソンテ
スケート連盟理事
辞任勧告不服…
裁判所に仮処分申請



5 年間の体育大会の
安全事故 1 千 668 件…
大統領杯大会も
管理不十分



バンダビ
体育センター
障害者移動権
「絵に描いた餅」



*

競技中の
暴力事態…
生活体育サッカー場
「修羅場」



01 聯合ニュース 2025-10-23

文化体育観光部、中学校シルム部暴行指導者資格を直ちに取り消す



文化体育観光部（文化体育観光部）は 23 日、選手に暴行を加えた中学校シルム部の指導者に対し、国民体育振興法に基づき、体育指導者資格の取り消し処分に踏み切ったと明らかにした。

これはスポーツ倫理センターの調査と体育指導者資格運営委員会の審議・議決を経て確定した措置で、文体部が 8 月「体育界暴力・性暴行根絶方向」を通じて明らかにした「ワンストライクアウト」原則を実際に適用した初めての事例だ。

文体部は該当指導者が訓練態度を問題にして選手に暴行した事実が確認されたことにより、21 日に体育指導者資格運営委員会を開き事案の重大性を深く審議した後「暴力はいかなる指導名分でも正当化できない」という結論を下し資格取り消しを議決した。

該当指導者は 6 月、まともに訓練しないという理由で被害学生をスコップで殴り、文体部傘下のスポーツ倫理センターは今月初めに体育指導者資格取り消し要求を決めた経緯がある。

文体部は「今回の資格取り消しを契機に体育界暴力根絶政策をさらに強力に推進する」とし、「暴力加害指導者に対する懲戒や資格管理などで不十分だったり消極的に対応する体育団体に対して国民体育振興法にともなう再議要求、未履行時の財政支援制限など可能なすべての行政措置を積極的に検討する」と強調した。

また、2026 年から人権保護官を拡大し、学校運動部と各種大会を常時点検できる体系を構築し、すべての競技者を対象に暴力・性暴行予防教育を義務的に履修するようにする計画だ。

合わせて体育界人権侵害実態全数調査等を通じて申告以前の段階で事前予防機能も大幅に強化する。

文化体育観光部のチェ・フィヨン長官は、今回の資格取り消し措置以後、スポーツ倫理センターを直接訪問し、暴力根絶業務を遂行する職員たちを励まし、被害者保護と再発防止システムを点検する。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20251023019900007>

02 東亜日報 2025-10-20

キム・ソンテスケート連盟理事、辞任勧告不服・・・裁判所に仮処分申請



大韓スケート競技連盟の金ソンテ理事（城南市庁監督）が、スケート連盟の理事職および競技力向上委員職の辞任勧告を受け入れられないとし、裁判所に仮処分申請を出したことが確認された。

20 日、国会文化体育観光委員会所属の「国民の力」陳ジョンオ議員によると、金理事は理事職および競技力向上委員職の欠格事由の不存在確認仮処分申請を 10 日、ソウル東部地方裁判所に提出した。

金理事は 8 月、韓国ショートトラック国家代表チームの臨時総監督に選任されたが、過去に懲戒を受けた履歴が議論になって指揮棒を下ろした。金理事は国家代表チーム監督として活動した 2019 年選手団管理不十分および虚偽報告、職務怠慢などの理由で 1 年資格停止懲戒を受けた。大韓体育会の国家代表選抜および運営規定 10 条 11 項は「社会的物議で資格停止懲戒を受けた場合、代表チーム指導者になれない」と規定している。

キム理事を忠北鎮川選手村で退村措置した連盟は先月 23 日報道資料を通じて「指導者選任過程で欠格事由検討を疎かにした。理事会は懲戒履歴を認知できないまま選任手続きを踏む誤りを犯した」として謝った。

以後、キム理事の懲戒履歴は彼がスケート連盟理事職と競技力向上委員職を継続して遂行しても良いのかという論難につながった。スケート連盟定款第 26 条（役員の欠格事由）に「社会的物議、体育会と体育会関係団体から懲戒は受けなかったが、役員の欠格事由に該当する類似行為などその他の適当でない事由がある人という内容があるためだ。

スケート連盟は 1 日、陳議員室に送った答弁書を通じて「連盟総会で金理事を役員に選任した当時、欠格事由があるかに対する深い議論がなされた事実がないと見られるため、金理事に定款上の欠格事由がないと断定することは難しいと考えられる。これに対し金理事に理事職と競技力向上委員職の自主辞任を薦めた」と伝えた。

しかし、金理事は連盟の辞任勧告を受け入れなかった。金理事は 10 日、連盟事務局に送った電子メールで「外部法律諮問を含む多様な意見を聴取した結果、理事としても国家代表指導者としても欠格事由に該当しないという趣旨の意見を確認した」とし「現時点での辞任は選手団の士気低下と組織混乱を招く恐れもあるという指摘もあり、辞任しないことに決めた」と明らかにした。

ただし金理事は「仮処分申請が棄却される場合には直ちに理事および競技力向上委員から退く」と付け加えた。

陳議員は「スケート連盟が事実上マヒ状態に陥っている。選手たちはミラノ・コルティナ・ダンペッツォ冬季五輪を控え、国家代表として練習に専念しているが、いざ連盟は内紛で本来の機能を失った」と指摘した。それと共に「今回の国政監査でスケート連盟の運営実態と大韓体育会の管理・監督体系を綿密に調べ、根本的な再発防止対策を必ず用意する」と強調した。

出典：<https://www.donga.com/news/Culture/article/all/20251020/132600011/1>

03 聯合ニュース 2025-10-27

5 年間の体育大会の安全事故 1 千 668 件……大統領杯大会も管理不十分



最近 5 年間、1 千 600 件を超える体育大会の安全事故が発生したが、安全管理はきちんと行われていないと国会文化体育観光委員会の幹事である国民の力パク・ジョンハ議員が 27 日、明らかにした。

パク議員がこの日、大韓体育会から提出された資料によると、最近 5 年間、大韓体育会傘下の種目団体が開催した体育大会で発生した安全事故は計 1 千 668 件と集計された。

このうち負傷が 1 千 316 件、救急搬送 306 件、手術 18 件などであり、死亡事故も 3 件あった。

大統領杯・首相杯・長官杯など政府名称大会で発生した事故も 35 件あった。このうちボクシング・シルム・鉄人 3 種・テコンドーなど負傷危険が大きい 5 大会が安全管理計画を樹立せず、21 大会では安全点検表を作成しなかった。

国民体育振興法によると、1 千人以上が集まる体育行事の主催者は、行事が安全に進められるように安全管理計画を樹立し、安全点検表を作成するなど、必要な措置を取らなければならないが、政府名称大会でもこれを遵守していないのだ。

大韓体育会は 2023 年 7 月、大会安全管理のために全体 83 種目団体に種目別安全マニュアルを作成し提出しろと要求したが、21 団体はこの日まで関連マニュアルも提出しなかった。

パク議員は「政府名称の大会さえ安全管理が不十分で、事故が起きても成果評価にまともに反映されない構造」として「大韓体育会が種目団体大会の安全管理体系を綿密に点検し、各大会の成果評価で安全管理指標を強化し大会参加選手および観覧客の安全を強化しなければならない」と強調した。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20251026051800001>

04 時事総合新聞 2025-10-27

バンダビ体育センター障害者移動権「絵に描いた餅」



全国のバンダビ体育センターのうち 5 カ所のうち 1 カ所が、公共交通機関基準で往復 2 時間以上かかり、アクセスが非常に低いことが分かった。障害者専用シャトルバスを運営する所はたった 1 カ所だけだった。

国会文化体育観光委員会所属のミン・ヒョンベ議員(共に民主党、光州光山乙)が大韓障害者体育会から提出された資料を分析した結果、2025 年 10 月基準で全国 35 ヶ所のバンダビ体育センターのうち 7 ヶ所(20%)は公共交通基準片道 1 時間以上かかることが分かった。30 分以上かかる場所は 22 カ所(63%)、30 分未満でアクセス可能な施設は 6 カ所(17%)に過ぎなかった。所要時間は各センターが位置した市・郡・区内で人口が最も多い洞住民センターを出発地に設定して測定した。

シャトルバスを運営しているのは慶尚南道梁山市の 1 カ所だけだった。梁山市は障害者体育会基金 1 億 2 千万ウォンと市費 1 億 7 千万ウォンなど計 2 億 7 千万ウォンを投入しシャトルバスを運行している。

駐車スペースも基準を満たしていない施設が半分を超えた。文化体育観光部「バンダビ体育センター管理・運営指針(2023)」は「全体駐車面数の 30%以上または少なくとも 20 面以上を障害者専用確保すること」を推奨している。しかし、大韓障害者体育会が去る 12 月に発刊した「バンダビ体育センター管理・運営方案研究」によると、調査対象の 15 のセンターのうち、推奨基準を満たしたのは 7 カ所(46%)に過ぎなかった。

資料を分析したミン議員は「障害者体育の象徴であるバンダビ体育センターがいざ障害者には『絵に描いた餅』になっている」とし、「障害者が体育センターを利用するためには物理的接近から保障されなければならない、シャトルバス普及と駐車空間拡充は選択ではなく必須」と強調した。

一方、バンダビ体育センターは障害者に優先利用権を保障しながら非障害者も一緒に利用できる統合型生活体育施設で、文化体育観光部が推進中の事業だ。政府は現在まで 103 ヲ所を選定し、35 ヲ所を開館した。

出典：<http://sisatotalnews.com/article.asp?aid=1761521629408669002>

05 韓国生活体育ニュース 2025-09-23

競技中の暴力事態・・・生活体育サッカー場「修羅場」



忠清北道鎮川で開かれた生活体育サッカー競技の途中、選手間の殴り合いが起き、外部の人まで競技場に乱入するなど、深刻な暴力事態が発生した。現場を盛り込んだ映像が広がり、生活体育の根本価値である「スポーツマンシップ」が失踪したという批判が激しい。

今月 14 日、鎮川で開かれた忠北生活体育大会の壮年部サッカー準決勝。前半 38 分、清州市選手の攻撃を丹陽郡選手が反則で阻止する過程で衝突が発生した。すぐにもみ合いと殴り合いが起これ、一部の選手がけんかを止めようとしたが、状況は手のほどこしようもなく大きくなった。

特に、選手だけでなく身元不明の普段着姿の部外者まで競技場に乱入し、現場は修羅場になった。興奮した選手たちは審判判定後も激しい抗議を続け、試合の秩序を崩した。

審判陣は双方の選手に退場を宣言したが、まもなく故意的な報復行為を理由に丹陽郡 6 番選手だけを退場させることに判定を覆した。これに対して現場関係者と観衆は「試合外の状況が統制されず大きな混乱が起きた」として物足りなさを伝えた。

試合は 2 対 1 で清州市の勝利で終わったが、勝負を離れて相手尊重とフェアプレーというスポーツの基本価値が崩れたという点で多くの非難を浴びている。実際に関連映像はユーチューブで再生数 1 万件を突破し「生活体育水準が嘆かわしい」というコメントが相次いでいる。

忠北サッカー協会は「暴力は決して容認できない行為」として真相調査を終えた後、早急にスポーツ公正委員会を開き関係者に対する懲戒を下す方針だ。

生活体育の基本は競争ではなく和合だ。今回の事態が再発防止対策作りと成熟したスポーツ文化定着の契機になるか注目される。

出典：<http://www.kstnews.co.kr/news/articleView.html?idxno=38643>

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。
私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>